

2005年 [平成17年]

7月1日 第782号

赤十字新聞

クロスアップひと

都 営 地 下 鉄 に
赤 十 字 の 広 告 を 掲 載

宿線のドアの上。歌手の氷川きよしさんが赤十字への協力を呼びかける長細い広告がこの5~6月、掲げられました。この広告スペースはもともと7年前から、自らが社長を務める会社が借りているもので、この期間は無償で、赤十字に提供しています。すでに4年目になりました。日赤との付き合いは13年前から。この間、「日本モンゴル友好協会」の活動の一環として、モンゴルでの医療支援などを同国の赤十字を支援しました。

蒙古との出会いは偶然、駐日モンゴル大使と友人となつたことからでした。人が人を呼び、モンゴル政府要人とも交流が始まりました。そもそもが行動派。モンゴルで山火事が発生し、大きな被害が出ていると聞けば、現



熊野活行さん

日本システム企画株
代表取締役社長

社会貢献やめると会社がつぶれる?

地へと赴き、モンゴル赤十字に支援金を手渡しました。同協会はこうした活動の中から生まれ、自ら会長に就任しました。民主化が達成されてまだ日が浅いころ。モンゴル人自身が自立しなければ、本当の民主化はできない、そのためには

3年前には「日本ミャンマー友好交流協会」を立ち上げ、軍政下の子どもたちへの奨学金制度づくりに着手していました。「モンゴルは基盤ができるからね。次は人が手をつけていいところを」。昨年は「東京大江戸ライオングループ」を結成し、こちらも会長に就任。さらにアジア全体に目を向け、子どもたちへの支援活動を展開はじめています。

は教育と医療が必要だと考えました。

土地と建物の費用を提供して、大学建設を全面的に支援しました。8年前に設立された「モンゴル国際経済大学」は、同国最大の私立大学になりました。

医療面では保健医療支援と

ゴル赤十字社の診療所を支援することになりました。

会社の目標として「社会貢献」を掲げます。「社会の役に立っている企業はつぶれない」。逆に、「社会貢献をやめるといふれちゃうんじゃないか。強迫観念があるんですね」と笑います。